

市民体育館利用料が65歳以上の市民は半額に

12月定例会市議会に提案された、沼田市民体育館の設置及び管理条例の一部改正がおこなわれ、65歳以上の料金がこれまでの半額になります。

使用区分が細かく区分され、バドミントンコート1面程度など少なく利用する人にとっては料金は引き下げとなり、全面など広く使う人には値上げとなる利用料金の改定もおこなわれ、来年4月1日から実施されることになりました。

小中学校の普通教室等266教室にエアコン設置へ

12月定例会市議会に提案された沼田市一般会計補正予算のなかで、市内の小中学校の普通教室など266教室にエアコンを設置する予算が計上され、全会一致で可決されました。

大東議員の質疑に教育部長は、「3月末までに工事を終える予定だが、場合によっては延期される場合も考えられる。それでも来年の夏までには設置を完了できるようにしたい」と答えました。

新年度予算編成、防災対策、給付型奨学金の実施などを求める

12月定例会市議会の一般質問で大東議員は、新年度予算編成の考え方、防災のまちづくりへの支援と地域と一体となった取り組みの推進、返済不要の給付型奨学金の創設などを求めました。

市長は新年度予算編成については、「財政的には厳しい状況にあるが、市民との連携・協働をすすめ、ハードからソフトへ、子どもから高齢者まで健康でくらすよう、きめ細かな取り組みをすすめてい」と答えました。

大東議員は、新年度からは、市民のくらしを支える事業をすすめるよう強く求めました。

議員定数1人削減と2人削減を議員提案

11日開かれた議会運営委員会で、追加議案として議会最終日（17日）に、議員定数を20人から1人減らす議案と2人減らす修正議案を追加議案として上程し、審議することが決まりました。

議員定数を1人減らすことを提案したのは、大島崇行議員で、賛同者は茂木清七議員と大竹政雄議員でした。

議員定数を1人減らすことの修正案として2人減らすことを提案したのは、金子浩隆議員で、賛同者は星野妙子議員です。

定数削減の議案は、17日の議会最終日に上程され、提案理由の説明、質疑、討論、採決がおこなわれます。

統一地方選挙と参議院選挙で日本共産党の躍進を

来年の統一地方選挙と参議院選挙で、日本共産党を躍進させ、安倍政権を退陣に追い込もうと、日本共産党後援会総会が9日、前橋市で開かれました。

総会では、各地の後援会活動や統一地方選挙の候補者が紹介され、伊藤参議院予定候補と伊藤県議が決意をのべました。

2018年12月16日

NO. 590

日本共産党 大東のぶゆき議員活動地域後援会ニュース

やまびこ

発行所 沼田市下久屋町983 TEL23-1519 部内資料



続ぶらり散歩 めまた道 利根町あれこれ 特別編 その二

龍宮のお椀

吹割の滝の滝壺は、昔から龍宮に通じているといわれ、村でご祝儀や人寄せなど、お膳やお椀が必要な時には、お願いの手紙を書いて滝壺に投げ込み、お膳とお椀を借りていました。

お膳とお椀を使う前日に行ってみると、岩の上にきちんと頼んだ数のお膳とお椀が置かれていました。

お膳とお椀を使い終わってから3日以内にお礼の手紙をつけ、岩の上に置いておくといつの間にかお膳もお椀も消えてなくなり、村人たちは龍宮へ返されたと思っていました。

村の人たちはこうして長い間、ご祝儀など人寄せの時は、重宝していましたが、ある年、龍宮から借りたお膳とお椀の数を間違え、一組だけ返すのを忘れてしまい、急いで岩の上

に置きましたが、幾日たっても龍宮へは返されず、それからいくら頼んでもお膳とお椀を龍宮から借りることはできなくなりました。

残ったお椀は今も残されており、明治時代から昭和時代にかけてこのお椀を見に来た人の名簿も大切に残されています。（写真左は名簿の一部）



安倍政権の強権政治に反対する市民と野党の共闘をさらに前進させ、来年の統一地方選挙と参議院選挙で安倍政権を退陣させましょう。

改悪なども、国民に説明しないままの強行の連続でした。

技能実習生として来日した外国人労働者の実態を隠し、受け入れ拡大の入管法改定では、失踪実習生の聴取票さえ国会に提出せず、外国人労働者の受け入れ業種などを省令等に委ねた「空っぽ」の法律で、わずかな審議時間で押し通したことは大問題です。

浜の漁業を企業に明け渡す漁業法改悪、水道事業を企業のもうけの対象にする水道法の改悪なども、国民に説明しないままの強行の連続でした。

こんにちは 大東のぶゆき です